

Web ライティング「鬼滅の刃—各呼吸と使い手」

(制作：mantoru)

・日の呼吸 使い手：継国縁壺、竈門炭治郎

〈継国縁壺〉

本作最強の人物。「始まりの呼吸」である、「日の呼吸」の使い手。上弦の壺・黒死牟こと継国巖勝の双子の弟。生まれた時から、「全集中・常中」を会得していた正真正銘の天才。

〈竈門炭治郎〉

本作主人公。物語最序盤に、禰豆子以外の家族を、鬼舞辻無惨によって惨殺され、鬼になってしまった妹を人間に戻す方法を探すために、鬼殺隊に入隊することとなる。刀の色は黒色。当初は、ハズレだとされていたが、これは、「日の呼吸」に抜群の適正があることを意味する。

〈日の呼吸〉

「始まりの呼吸」。別名、ヒノカミ神楽。「日の呼吸」は、「日」であって、「火」ではない。その原因は、あまりにも「日の呼吸」、その使い手の継国縁壺が強く、かつ会得難易度が極めて高いことから、過去の炎の呼吸の使い手が自信を喪失した、という話に由来すると考えられる。対応する日輪刀の色は、「黒色」。

・月の呼吸 使い手：黒死牟

〈月の呼吸〉

十二鬼月最強である、上弦の壺、黒死牟のみが扱う呼吸。剣を振ると、月輪を発生させ、凄まじい斬撃効果を発揮する。対応する日輪刀の色は、「紫色」

〈黒死牟〉

十二鬼月上弦の壺。人間の頃は、本作最強の人物である継国縁壺の兄。最強である縁壺と自分を比べた時の、激しい劣等感を持つため、彼を超えるために鬼となる道を選ぶが、結局、足元にすら及ぶことはなかった。

・水の呼吸 使い手：富岡義勇、竈門炭治郎、鱗滝左近次、村田、錆兎、真菰

〈水の呼吸〉

五代流派の一つの呼吸法。その歴史は古く、型の数はかなり多い。尚、水柱富岡義勇のみ拾壺ノ型を会得している。対応する日輪刀の色は「水色」。

〈富岡義勇〉

現水柱。その実力は折り紙付きで、水の呼吸における、拾の型を飛び越えて、自身で拾壺の型を編み出した。本作主人公竈門炭治郎が鱗滝左近次に弟子入りできるよう手はずを整えた人物。

Web ライティング「鬼滅の刃—各呼吸と使い手」

(制作：mantoru)

〈竈門炭治郎〉

本作主人公。物語最序盤に、禰豆子以外の家族を、鬼舞辻無惨によって惨殺され、鬼になってしまった妹を人間に戻す方法を探すために、鬼殺隊に入隊することとなる。刀の色は黒色。当初は、ハズレだとされていたが、これは、「日の呼吸」に抜群の適正があることを意味する。

〈鱗滝左近次〉

元水柱で、本作主人公竈門炭治郎の師匠。現在は「育手」をしている。トレードマークは、天狗の面を被っていることである。

〈村田〉

現鬼殺隊士で、竈門炭治郎達の先輩。人柄がよく、初登場は那田蜘蛛山編である。とてもしぶとい。

〈錆兎〉

鱗滝左近次の弟子だったが、最終選抜試験において、とある鬼に殺されてしまう。実は、富岡義勇とは同期であり親友同士。以降は霊となり、竈門炭治郎が成長するために手伝った。

〈真菰〉

錆兎と同じく、鱗滝左近次の弟子だったが、最終選抜試験において、とある鬼に殺されてしまう。錆兎とともに、霊となって竈門炭治郎の成長を見守った。

・花の呼吸 使い手：胡蝶カナエ、栗花落カナヲ

〈花の呼吸〉

水の呼吸の派生流派である。全ての型の名前に「花」が入っている。対応する日輪刀の色は「桜色」

〈胡蝶カナエ〉

物語開始時から、すでに故人。現蟲柱である、胡蝶しのぶの姉。長い髪に、頭の左右に蝶の髪飾りをつけた美女。

〈栗花落カナヲ〉

本作メインヒロイン。竈門炭治郎達とともに最終選抜で勝ち残った人物。胡蝶しのぶの継子。感情変化に乏しいのは、幼少期に凄惨な虐待を受けたからである。しかし、彼女の感情は、炭治郎のふとした行動によって、動かされることになる。名前は、胡蝶カナエが名付けた。

Web ライティング「鬼滅の刃—各呼吸と使い手」

(制作：mantoru)

自分のカナエをもじって、カナヲ。つまり、エがヲ。笑顔になってほしいという願いからである。

・蟲の呼吸 使い手：胡蝶しのぶ

〈蟲の呼吸〉

水の呼吸の派生である、花の呼吸からさらに派生した呼吸法。現蟲柱、胡蝶しのぶが独自で編み出したものである。この呼吸は鬼の頸を落とす事を最初から想定していない。対応する日輪刀の色は、「藤色」。

〈胡蝶しのぶ〉

現蟲柱で、おっとりとした正確の美女。しかし、姉の胡蝶カナエが生きていた頃は、気が強かった。姉を殺されたため、鬼という存在を憎んでいる。

・蛇の呼吸 使い手：伊黒小芭内

〈蛇の呼吸〉

水の呼吸から派生した呼吸法である。現蛇柱である、伊黒小芭内が独自に編み出したもの。対応する日輪刀の色は、「青紫色」。

〈伊黒小芭内〉

現蛇柱。「鎚丸」というオスの白蛇を常に首に這わせており、初登場は木の上だった。甘露寺蜜璃のことを、特に大切に思っている。

・炎の呼吸 使い手：煉獄杏寿郎、煉獄槇寿郎

〈炎の呼吸〉

五大流派の一つ。対応する刀の色は、赤色。炎の呼吸であって、火の呼吸ではない。

〈煉獄杏寿郎〉

現炎柱。今や、「400億の男」と称され、若い人なら知らない人はいないだろうという人物。柱の一角であり、その実力は、柱の中でもトップクラスである。「弱い者を助けるのが、強く生まれた者の責務だ」という名言通り、幾度となく作中で一般市民や、主人公達を助ける。非常に優れた人格者であるが、鬼に対する情はほとんどない。登場時は、不気味なキャラである、という印象を受けた読者が多かったが、無限列車編での活躍によって、その評価は凄まじく高騰した。

〈煉獄槇寿郎〉

元炎柱。、日の呼吸について書かれた炎柱ノ書を読んでしまっからは、自らの才能の限界

Web ライティング「鬼滅の刃—各呼吸と使い手」

(制作：mantoru)

と無力さに失望し、加えて同時期に最愛の妻（煉獄杏寿郎の母）を亡くした事もあって柱としての情熱も失ってしまい鬼殺隊を引退、以後は家で酒浸りの日々を過ごすようになる。

・恋の呼吸 使い手：甘露寺蜜璃

〈恋の呼吸〉

炎の呼吸から派生した呼吸。現恋柱である、甘露寺蜜璃が独自に編み出した。対応する日輪刀の色は、「桃色」

〈甘露寺蜜璃〉

現恋柱。元々は、煉獄杏寿郎の継子だったが、色々あって、柱となる。柱合会議の時、竈門炭治郎側に同情を見せた、優しい人物。

・岩の呼吸 使い手：悲鳴嶼行冥

〈岩の呼吸〉

五大流派の一つ。対応する日輪刀の色は「灰色」。

〈悲鳴嶼行冥〉

現岩柱。柱最強の人物。慈悲深く、涙をよく流している。しかし、鬼に対する情はない。岩の呼吸を用いて戦う。

・風の呼吸 使い手：不死川実弥、叅野匡近

〈風の呼吸〉

五大流派の一つ。対応する日輪刀の色は「緑色」。攻撃特化の呼吸法である、と評価されることがある。

〈不死川実弥〉

現風柱。鬼殺隊の中でも、特に鬼を憎んでいる。一見傍若無人に見えるが、目上には丁寧に接する。炭治郎は、その変わり身に驚いていた。鬼を酩酊させるほどの珍しい「稀血」を持つ。黒死牟にも効くほどである。

〈叅野匡近〉

故人。元々は、不死川実弥とともに風柱の席を競うほどの実力者。しかし、下弦の壺（姑獲鳥）との戦いで死亡。

・霞の呼吸 使い手：時透無一郎

〈霞の呼吸〉

Web ライティング「鬼滅の刃—各呼吸と使い手」

(制作：mantoru)

風の呼吸が派生した呼吸。対応する日輪刀の色は「白色」。エフェクトは霞がかかった白い霧。

〈時透無一郎〉

現霞柱。若くして柱に登りつめた、正真正銘の天才剣士。雲をよく見る、無邪気とも言える性格。しかし、凄惨な過去を持つ。

・ **獣の呼吸** 使い手：嘴平伊之助

〈獣の呼吸〉

本作準主人公である猪の被り物を被った少年、嘴平伊之助が独自に編み出した呼吸。風の呼吸と性質が似ている。

〈嘴平伊之助〉

本作準主人公で、竈門炭治郎や我妻善逸達とともに最終選抜を生き残った人物。特徴的な猪の被り物を被っている。しかし、その素顔は美形である。「野生児」という言葉では片付けられない正真正銘の『獣』であり、常時上半身を露出して、頭には猪から剥いだ頭皮を被っている二刀流の剣士。

・ **雷の呼吸** 使い手：我妻善逸、獺岳、桑島慈悟郎

〈雷の呼吸〉

五代流派の一つである。対応する日輪刀の色は、「黄色」。雷の呼吸を用いる柱は、「雷柱」ではなく「鳴柱」となる。

〈我妻善逸〉

本作準主人公で、竈門炭治郎や嘴平伊之助達とともに最終選抜を生き残った人物。ネガティブなことを考える性格をしており、普段はビビリ、かつ当初は女性に目がなかった。しかし、眠っている間の彼は、居合の達人となる。このギャップが、キャラクター人気投票1位を生み出した。自身の師匠、桑島慈悟郎が自害する原因を作った、兄弟子の獺岳との戦いの中で見せた彼の絶技、「漆ノ型 火雷神」は、まさに空翔ける雷神である。

〈獺岳〉

我妻善逸の兄弟子。性根から腐った人物。“雷の呼吸・壱ノ型”だけが唯一使えなかった。どうやら、悲鳴嶼行冥とも、悪い意味で関わりがあるらしい。黒死牟と遭遇し、物語終盤で鬼となった。

〈桑島慈悟郎〉

Web ライティング「鬼滅の刃—各呼吸と使い手」
(制作：mantoru)

鬼殺隊において隊士を育てる『育手』の一人。元鳴柱。善逸の師匠。善逸にきつく当たることもあるが、これは、愛情の故である。猯岳が鬼となったため、責任を取り、自害した。

・音の呼吸 使い手：宇髄天元

〈音の呼吸〉

雷の呼吸から派生した呼吸法。対応する日輪刀の色は橙色。現音柱である宇髄天元が独自に編み出したものである。

〈宇髄天元〉

現音柱。派手さを好む、二刀流使い。化粧を落として装飾を外した素顔は、色町の女将が思わず顔を赤らめる程の見事な色男である。アニメ第二期、遊郭編での活躍が楽しみだ。